

# 再 評 価 調 査 書

整理番号	6
担当部課名	土木部道路建設課

## 1 事業概要

(1)事業名	地方道路整備事業	(2)名称	主要地方道 常陸那珂港山方線
(3)事業主体	茨城県	(4)箇所名	那珂郡東海村照沼～那珂市向山
(5)採択年度	2019年度（平成31年度）	(6)完成予定年度	2028年度（令和10年度）
(7)事業目的	・地域高規格道路の水戸外環状道路は、高規格幹線道路の常磐自動車道や北関東自動車道等と一体となり、水戸勝田都市圏の外周道路を形成する重要な道路である。 ・重要港湾茨城港常陸那珂港区と常磐自動車道を結ぶ物流ルートへのアクセス性が向上するとともに、周辺道路の渋滞緩和が図られ、産業振興や沿線地域の活性化を目的とし、東海村照沼～那珂市向山までの約6.1kmのバイパス整備をするものである。		
(8)事業内容	・事業延長 L=6,100m ・計画幅員 W=12.5m/6.5m（暫定2車線） ・用地買収、改良工事、舗装工事、橋梁工事		

## 2 再評価の理由

(1)再評価の理由	再評価（5年経過）	(2)当初完成予定	2028年度（令和10年度）
(3)未着工・事業が長期間要している理由	—		
(4)前回指摘事項に対する対応状況（再々評価の場合）	委員会の意見	対応状況	
	—	—	

## 3 事業計画の変更

(1)完成年度の変更	— 【理由】—
(2)事業内容の変更	【理由】—
(3)事業費の変更	— 【理由】—

## 4 進捗状況と今後の見通し

(1)事業進捗状況	全 体	前年度	前年度まで	進捗率	
事業量(m)	6,100	0	0	0%	
事業費	工事費	14,430	177.9	977.9	6.8%
	用地買収補償費	6,570	772.1	772.1	11.8%
	計(百万円)	21,000	950	1,750	8.3%
(2)関連事業の進捗状況	・2023年（令和5年）3月に国道245号勝田拡幅の4車線化が完了。 ・国道6号東海拡幅が2019年度（平成31年度）に事業化され、用地取得を実施中。				
(3)今後の見通し	工 事	用 地 等			
	まとまって用地が取得できた箇所から順次、工事に着手するとともに、部分供用について検討する。	関連する国事業に合わせ、国道6号側から優先的に用地取得を進める。			

## 5 評価内容

(1)事業の必要性	第2次茨城県総合計画において、都市地域間のネットワーク強化や地域の拠点へのアクセス強化のため、本路線の整備が位置づけられている。 当該地域の幹線道路は、国道6号や国道245号等で、慢性的な渋滞が発生しており、茨城港常陸那珂港区から日立南太田ICを通行する物流交通にも支障を来している。 当路線の整備により茨城港常陸那珂港区と常磐自動車道のアクセス性の向上を図るとともに、周辺道路の交通混雑緩和を図る必要がある。					
	社会情勢等の変化に関する指標1	計画時の状況	現時点での状況	社会情勢等の変化に関する指標2	計画時の状況	現時点での状況
	国道6号 24時間交通量 (東海村石神外宿)	30,421台/日 (H27 センサス)	25,976台/日 (R3 センサス)	国道245号 24時間交通量 (ひたちなか市長砂)	22,724台/日 (H27 センサス)	21,302台/日 (R3 センサス)
(2)事業の有効性	茨城港常陸那珂港区と常磐道日立南太田ICを結ぶ物流ルートへのアクセス性が向上し、所要時間の短縮、定時性が改善される。					
	効果予測に関する指標1	事業なし	事業あり	効果予測に関する指標2	事業なし	事業あり
		茨城港常陸那珂港区～日立南太田ICまでの通過時間	22分	13分	—	—
	効果算定要因に関する指標1	事業なし	事業あり	効果算定要因に関する指標2	事業なし	事業あり
	計画道路 将来交通量(R22)	—	13,700台/日	現道将来交通量 (R22)	15,500台/日	14,200台/日
(3)事業の効率性	ア) 主な効果 (B) ① 当該路線の整備により那珂郡東海村照沼から那珂市向山まで6.1km区間において、走行時間の短縮（約27,400百万円）、走行経費の縮減（約2,600百万円）、交通事故の減少（約250百万円）が図られる。（計約30,250百万円） ② 茨城港常陸那珂港区と常磐道日立南太田ICを結ぶ物流ルートへのアクセス性が向上し、工業団地等への企業立地の促進が期待される。 イ) 主な費用 (C) ※現在価値化：令和5年度 ① 事業費 17,159百万円 ② 維持管理費 558百万円 計 17,717百万円					
	主な効果のうち貨幣化が可能な①について事業の効率性を分析した結果は以下のとおりである。 参考となる指標 B/C= 1.7					
(4)地元の意向	茨城県北部幹線道路・水戸外環状道路建設促進協議会（会長：那珂市長、関係市町村：常陸大宮市、常陸太田市、大子町、東海村）から、災害に強い国土幹線道路ネットワークの構築などのため、早期完成の強い要望がある。					
(5)コスト削減の可能性	土工事において大規模な土工があることから、効率化を図るICT施工などにより工期を短縮するとともに、土量の過不足について、事業区間内および近傍で実施している他事業と工事間流用を調整することにより、コスト削減を図る。					

## 6 対応方針

茨城港常陸那珂港区と常磐道を結ぶアクセス性向上及び周辺道路の渋滞緩和を図るためにも事業を継続したい。

## 7 再評価委員会の意見

継続することが妥当である。

## 8 委員会の意見を踏まえた対応

委員会の指摘を踏まえ、現計画に沿って早期完成を目指し、事業を進める。

